



# 今年も笑顔で頑張ります！



就労継続支援B型事業所「松本市岡田希望の家」には、18歳～54歳まで16名の利用者が通所しています。仕事の内容は☆お土産の点検・梱包、ダンボール仕切りの組み立て等の受注作業☆新聞紙・ダンボール・アルミ缶等の資源物の回収☆手芸品・染色品等自主製品の制作・販売など多岐にわたります。

ボランティアの皆さんの協力も得ながら明るく、いきいきと取り組み、また、月に1回行なわれる余暇支援（社会見学、買物学習、お花見、食事会など）の行事を通して、心身のリフレッシュを図っています。

「いろんな作業を皆で分担して、仲良くやりたい」「一生懸命に作製した手づくり品を、お客さんに買ってほしい」「工賃をためて外食をしたり、新幹線や特急列車に乗りたい」など、新年の抱負を語っています。

仕事をする時は真剣で丁寧にきちんと行ない、楽しむ時には思いっきり自分を出して楽しむことを目標に、今年も頑張っている人たちを地域の皆さんは温かく見守り応援しています。

- ・サッカーの醍醐味を満喫！ゴールシーンに歓声！…………… 2 P
- ・町会ごとに「いきいきサロン」～安原地区～…………… 2 P
- ・地域力アップのきっかけに～第一地区防災フェスタ開催～… 3 P
- ・成年後見制度の利用進む…………… 3 P
- ・福祉まんが「あいちゃん」…………… 3 P
- ・思いやりの心を育む 福祉体験学習…………… 4 P
- ・傾聴ボランティア講座～地域を支える力に～…………… 4 P
- ・ボランティア活動紹介…………… 5 P
- ・2月7日にボランティア交流集会…………… 5 P
- ・日赤社資へのご協力ありがとうございました!!…………… 6 P
- ・社協福祉相談…………… 6 P
- ・急募!!食品の寄付にご協力ください…………… 6 P

平成27年1月1日号

No.205



発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会  
 編集 社協まつもと編集委員会  
 電話 27-2000 FAX27-2239  
 E-mail : syakyoum@avis.ne.jp  
<http://www.syakyo-matsumoto.or.jp>

# サッカーの醍醐味を満喫！ゴールシーンに歓声！

## ～社協で松本山雅FCを応援するパブリックビューイング～

昨年11月15日、社協では日頃サッカー会場で応援することが困難な障がいのある方とその家族、高齢者の方をお招きして、松本山雅FCの試合を応援するパブリックビューイングを開きました。

FC岐阜と対戦し1対3と敗れはしましたが、サポーターを含め150名の参加者は、大スクリーンに向かって、応援歌を歌い、手拍子を打ちながら心をひとつに応援し、試合会場さながらの臨場感を楽しみました。参加者からは「アルウィンまで連れて行けない体の不自由な子どもも参加でき、感謝しています」「会場の雰囲気味わえ、安心して楽しめました」など感激の声が聞かれました。



心ひとつに皆で応援 “One Soul”

社協は一昨年から松本山雅FCのパーソナルスポンサーになり松本山雅を応援するとともに、選手の皆さんには地域貢献活動の一環として、赤い羽根の街頭募金やポスターのモデルとして協力いただき、共同募金のPRに一役買っています。

松本山雅FCのJ1昇格は、子どもから高齢者まで、多くの方に勇気と希望を与えてくれました。松本山雅FCがJ1で大活躍するよう、より一層強い絆で応援しましょう。

《J1の大舞台で未来に羽ばたけ、我らが松本山雅FC！》

## 町会ごとに「いきいきサロン」～安原地区～



安原地区（11町会）の高齢化率（23.3%）は、地区内に小・中学校、高校、また信州大学があり、学生も多いことから、国・県・市の平均を下回っています。このような状況ではありますが、住民同士のつながりを深め年齢を重ねても安心して暮らせる町となるよう、何でも気軽に話し合える場として町会ごとにサロン活動を展開しています。

新町町会では、今年度新たに気軽に集まり、おしゃべりやお茶を飲みながら孤独感を解消し、生き甲斐のある生活を送るために「ふれあい・いきいきサロン」を行なっています。

企画運営を民生児童委員と健康づくり推進員、町会役員の女性の皆さんが担い、多くの参加者を得て絆が深まっています。

この日は、「岸壁の母」の音楽に合わせて、椅子に座ったままで出来るストレッチを行ない、参加者が知っている曲ということもあり、音楽に合わせて体が自然に動いていました。

体がほぐれた後は、「目薬」と言う演目の落語を楽しみ、笑いがこぼれ、楽しいひと時を過ごしました。

体も心もリフレッシュした後は、手づくりの「おはぎ」をいただき、参加者はとても満足そうな表情でした。

今後とも、町会づくりの一翼を担ってサロン活動を展開していきます。



椅子に座ったままのストレッチなら簡単だわ



手づくりおはぎは格別だね



# 地域力アップのきっかけに

## ～第一地区防災フェスタ開催～

昨年10月26日に「第一地区防災フェスタ」が開催されました。当日は、煙道体験や給水等の様々な災害体験、子ども向けにはパトカー試乗、防災クイズやミニS1に乗るなど楽しめるコーナーも設けました。



参加者 心肺蘇生訓練をする

また、9月に発生した御嶽山噴火災害での救援活動をパネル展示したコーナーでは、来場者が足を止め自然災害の恐ろしさを改めて実感するとともに、自衛隊・消防等の命をかけた捜索活動に見入っていました。街なかでの開催だったため、小さな子どもを連れた若い年代の方が多く、活気あふれるイベントとなりました。

みんなに関心を持っていただけるようなイベントにしようと、大勢の地区関係者が協力することで、地区内の絆が強くなったように感じます。今後さらに地域力をつけ、安全安心な地域を目指したいとのことです。

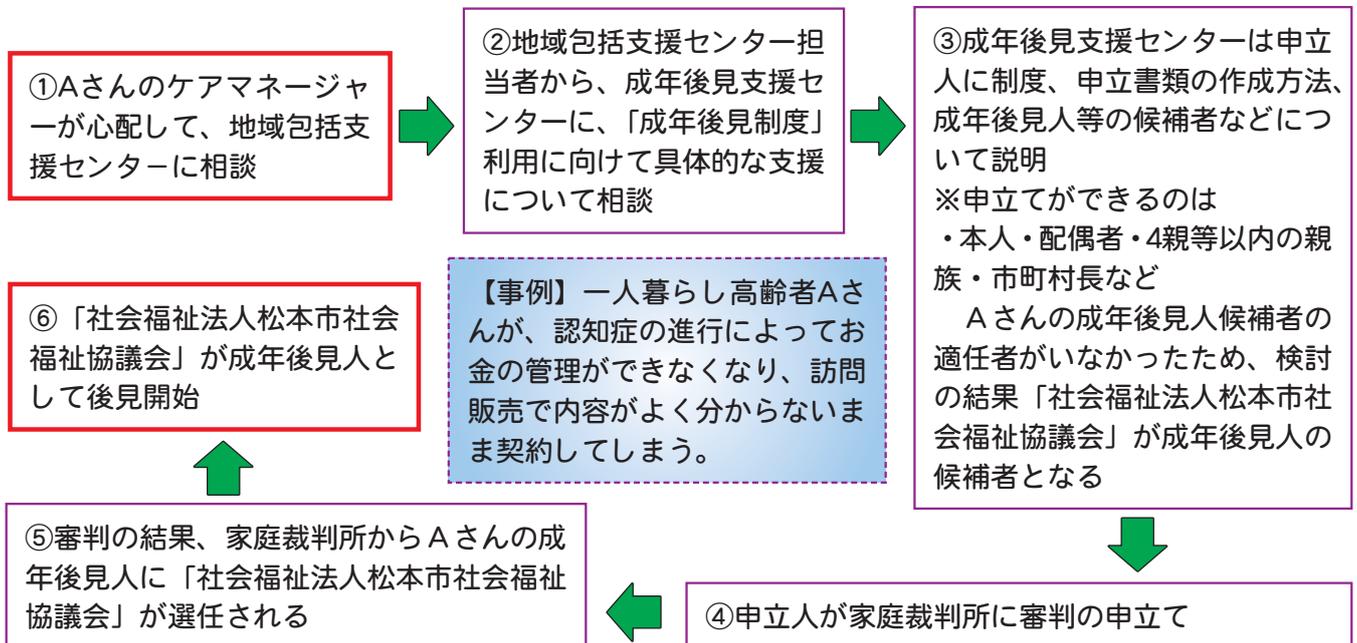


会場での消防隊員とパトカーの乗車体験

# 成年後見制度の利用進む

成年後見制度は、自分で判断ができない高齢者や障がいのある方々のために、親族・市町村長等の申し立てにより、家庭裁判所が後見人を決め契約代理や財産管理をする制度です。今回は松本市社協が行なっている成年後見制度において後見人が決まるまでの流れを紹介します。

〔成年後見制度に関する問い合わせは〕成年後見支援センターかけし（電話88-6699）まで



# ボランティア情報 **こてまり**

- 『こてまり』はこんな情報を発信しています！  
ボランティア活動についての情報・活動者、団体の紹介・講習会や行事などの紹介
- 問い合わせ／記事掲載の申し込み  
松本市社会福祉協議会内ボランティアセンター 電話25-7311 FAX27-2239

## 思いやりの心を育む 福祉体験学習



おじいちゃんになると大変！（明善小）



アイマスクを付けて疑似体験（今井小）

社協では学校、企業などに出向き、疑似体験やワークショップなどの福祉体験学習（講座）を実施しています。多くの小中学校ではアイマスクをつけて視覚障がい者と、その人を安全に誘導するガイドヘルプを交代で体験し、自分がこうしてもらおうと助かる支援について考えます。また、障がいがある方に、日常感じていることなどお話ししていただく交流会も実施しています。



車椅子の体験  
（並柳児童センター）

最近核家族が増え、祖父母と同居していない子どもたちが多く「高齢者」との接し方について学びたいという希望もあります。そこで地域にある高齢者の施設に行く、または地区福祉ひろばでお年寄りとレクリエーションをするために、事前に高齢者疑似体験をして、生活のしにくさを実感してもらうのです。「なるべくそばで、大きな声でゆっくり、はっきりしゃべらないと聞こえないね」と、体験してみるとさまざまな気づきがあり、その気づきがお年寄りの理解につながるように学習しています。

## 傾聴ボランティア講座 ～地域を支える力に～

大勢のみなさんにご参加いただいた傾聴ボランティア講座（11月20日・21日）が終了しました。これからの地域での支え合いでは近所同士の関わりが重要です。人と人とのコミュニケーションにおいては「会話」、とくに「聴き手」の力を身につけ、よりよい対人関係を築くことがポイントであることを学びました。

傾聴のコツは、五感をフルに使い、相手を否定せずに受容する、能動的に敬意をもって接するとのことでした。話し手、聴き手の役に徹する練習（ロールプレイ）では、初めて体験される方がほとんどでしたが、真剣に取り組んでいました。今後傾聴ボランティアとして活動し、高齢社会を支えていただきたいと思います。



募集します！

大雪の際、高齢者世帯等への雪かきをしてくださる方、ボランティアセンターへ登録をお願いします。

電話 25-7311まで



ロールプレイをする参加者

# ボランティア活動紹介

## 吹奏楽団クローバー

学生時代の仲間5人で活動している吹奏楽団クローバーのみなさんは、高齢者の施設で演奏活動をしています。今日は東部デイサービスセンターのレクリエーションの時間に演奏しました。フルートやサクソフォンなど普段あまり聴いたことのない楽器の音色に、利用者の皆さんもうっとり聞き入っていました。



## 人形劇団やまんば



本格的なセットで、人形劇が始まりました。「胴長のプレッツェル」という犬のお話に、子どもたちはもうくぎ付け。拍手をしたり、大笑いしたり楽しい時間を過ごしました。

「人形劇団やまんば」は、元保育士の皆さんが中心となり、市内のいろんな場所に出かけて人形劇やパネルシアターで、子どもたちに笑顔のプレゼントをしています。

「子どもだけでなく大人にも人形劇は映画とは違って新鮮だけれど、なんだか懐かしく感じました」と子どもと一緒に鑑賞したお母さんが話していました。

## 2月7日にボランティア交流集会

昨年の2月、あの大雪の日に開催したボランティア交流集会から早くも一年。今年も皆さんにご協力をいただき、賑やかに開催します。どうぞお出かけください。今年は、どうか雪が降りませんように……。

- ・期日 平成27年2月7日(土曜日)
- ・会場 松本市総合社会福祉センター 4階大会議室
- ・日程 9:30~受付 ウェルカムコンサート 牛山正博先生のヴァイオリン演奏  
10:00 開会

(午前の部) 10:10~12:00 活動発表 今年も盛りだくさん!

昼食 施設の販売もご利用ください

社協劇団の寸劇「認知症を地域で支える」

(午後の部) 13:30~15:00 講演会「認知症の方との関わり方」

講師 NPO法人 ホールファミリーケア協会

事務局長 山田 豊吉 氏



# 日赤社資へのご協力ありがとうございました!!

日赤松本市地区では、皆さまからいただいた社資を、地域における様々な事業に活用させていただいております。

◇目標額 37,677千円(前年度37,736千円)  
◇達成率 73.7%(前年度74.7%)

【救命救急法・幼児安全法・健康生活支援講習会、健康や安全を守るための講習会、災害に備えた地区・町会での炊き出し訓練等】



炊き出し訓練をする  
日赤奉仕団(松南地区)

## 実績額 27,776,995円

前年度実績額28,198,185円  
(平成26年5月1日～平成26年12月10日現在)

### 【長野県支部活動へ】

災害救助、医療事業、青少年赤十字、地域奉仕団育成など  
18,610千円 (67%)

【市全体及び35地区の事業へ】  
5,000千円 (18%)

### 【本社事業費へ】

被災地支援、国際救助活動など  
4,166千円 (15%)

皆さまからご協力いただいておりますが、日赤社資の実績額は年々下がっています。しかし、近年国内では各地区で大きな災害が発生しており、県内では平成23年の県北部地震、松本地震をはじめ、昨年も軽井沢地域の大雪、南木曾町の豪雨、御嶽山の噴火、神城断層地震など甚大な被害を被っております。日赤の社資は災害救助、被災地の復興支援等に役立てられていますので、皆さまの更なるご協力をお願いいたします。



日本赤十字社公式マスコットキャラクター「ハートラちゃん」

## 社協福祉相談

松本市社協では、市民の皆さまが抱えるさまざまな福祉問題について、専門相談員による相談窓口を下記のとおり開設しております。

相談内容	相談日時	相談員	受付	電話
福祉なんでも相談(心配ごと)	毎週月曜日 13:00～15:00	学識経験者	各相談とも会場(総合社会福祉センター)へ直接お越しください。(電話も可) 但し、福祉法律相談のみ当日10時から電話受付で先着8名 児童相談は各児童館、児童センターへご相談ください。	25-3133
福祉法律相談	毎月第2月曜日 13:00～15:00	弁護士		25-3133
ボランティア相談	毎週月～金曜日 9:00～17:00	ボランティアコーディネーター		25-7311
日常生活自立支援(権利擁護)相談	毎週月～金曜日 9:00～17:00	専門職員		27-3381
児童相談	毎週月～土曜日 12:30～18:30	館長及び児童厚生員		各児童館

**急募!!**

## 食品の寄付にご協力ください



松本市社協では、生活に困窮している方へ一時的に食品を提供することにより、生活の一部を支えるとともに、困窮状態から脱却できるように支援を行なっています。

現在、提供する食品が不足している状況のため、食品の寄付について下記によりご協力いただければ幸いです。細部については相談・調整の上、対応させていただきます。

☆食品の種類：缶詰、カップ麺、レトルト食品、非常食、白米  
(いずれも消費、賞味期限ができるだけ長いもの)

☆問い合わせ：松本市社協地域福祉課 電話27-3381



『社協まつもと』はみなさんからの共同募金の配分金で発行されています。